

電気ケトル 1.0L

型番	TA-E501
品番	AS-100

無料修理保証書

保証期間内に取扱説明書、本体表示などの注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、保証書の記載にもとづき、お買いあげの販売店が無料修理いたします。お買いあげの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買いあげの販売店に修理をご依頼ください。

保証期間	本体お買いあげ日より 1 ケ年無料	お買いあげ日	年 月 日
※ お客様	お名前 様	住所 TEL	
※ 販売店	店 名 印	住所 TEL	

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
(イ) お取り扱い上の不注意・天災・火災・公害・異常電圧・指定外の使用電圧による故障、損傷及び部品の当然の消耗などの場合。
(ロ) ご自分で不当な修理・調整・分解・改造などをされたもの及び取扱説明書、本体表示などの禁止事項での使用による故障や損傷。
(ハ) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
(ニ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店の記入の無い場合あるいは字句を書き換えられた場合。
(ホ) 本書のご提示がない場合。
2. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
3. 本書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保管してください。

- この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店へお問い合わせください。
※補修用性能部品は、製造打ち切り後 5 年間保有しています。

保証書にご記入いただいた個人情報について

※ご記入いただいたお客様の個人情報は商品の修理・交換に関わる作業のみ使用させていただきます。
※修理・交換以外の業務や第三者に提供することはありません。

	修理実施日	修 理 内 容	担 当 者
サービス メ モ			

- この度はお買い求め頂き誠にありがとうございます。
この製品は、厳密な検査をいたしております。
ご使用前に破損などがないか確認し、取扱説明書をよく読んでから、正しくお使いください。お読みになった後は使用者がいつでも見られるところに必ず保管してください。

■輸入販売元

Tamahashi co.,Ltd.
株式会社 タマハシ

〒959-1241 新潟県燕市小高4549-6
TEL0256-63-9545 FAX0256-66-2252
URL https://www.smile-king.co.jp
E-mail tamahashi@smile-king.co.jp

中国製

要保管

電気ケトル 1.0L

※一般家庭用（業務用として使用しないでください。）

この商品は家庭で調理するために使うものです。使用の際にはこの取扱説明書をよく読んでから使用してください。不適切な取扱は事故につながります。
使用する方はこの取扱説明書は必ず保管してください。

取扱説明書

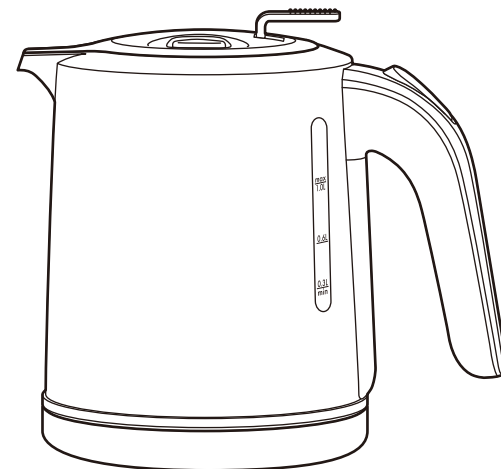
保証書付 裏表紙にあります

型番／品番
TA-E501／AS-100

※この商品は水を沸かすためのものであり、水以外は沸かさないでください。

※この商品は火にかけられません。
直火（ガス台等）や電気ヒーター、電磁調理プレートなどの上に載せることはできません。

※この商品は保温機能がありませんので、必要に応じて必要な量だけ沸かしてください。



※この図はイメージです。

本製品は日本国内専用に設計されていますので、国外での使用はできません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

仕 様	
品 名	電気ケトル1.0L
型 番	TA-E501
電 源	100V 50/60Hz 共用
消 費 電 力	900W
最 大 容 量	1.0L
寸 法	(約) 220×145× 高さ 205mm (電源スタンドセット時)
電源コードの長さ	(約) 1.2 m

もくじ

安全上のご注意…………… 1～3
ご使用前に…………… 4
各部の名称…………… 4
ご使用方法…………… 5～7
お手入れ方法…………… 7～8
おかしいな?と思ったら…………… 9
保証とアフターサービス…………… 10
無償修理保証書…………… 裏表紙

安全上のご注意

- ご使用の前にこの「安全上の注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人への危険や損害を防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を示すために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害の発生する可能性が想定される」内容です。
-----------	--------------------------------------	-----------	--

※物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

	禁止図記号		指示図記号
	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。		この絵表示は、必ず実行していただく「指示」内容です。

警告

修理技術者以外の人、絶対に分解したり修理・改造は行わないこと。 ※発火したり、異常動作してケガをすることがあります。	交流 100V で、定格 15A 以上のコンセントを単独で使う。 ※交流 100V 以外で使ったり、コンセントを他の器具と同時に使ったり、延長コードを使うと、火災や感電の原因になります。
子供や取扱いに不慣れな方だけで使わせたり、幼児の手が届くところで使わない。 ●やけど・感電・けがをする恐れがあります。	傾けたり、ゆすったりしない。 ※湯が流れ出てやけどをする恐れがあります。
使用中、ふきんなどで注ぎ口をふさがない。 ※湯がふきこぼれてやけどをする恐れがあります。	注ぎ口に手をかざしたり、蒸気に触れたり、顔を近づけない。 ※やけどをする恐れがあります。特に幼児には触れさせないでください。
本体を転倒させない。 ※湯が流れ出てやけどをする恐れがあります。	フタは勢いよく閉めない。 ※湯がふきこぼれてやけどをする恐れがあります。
最大目盛以上の水を入れない。 ※水を入れすぎた場合、熱湯が飛び出すことがあり、やけど・感電・ケガをする恐れがあります。	本体接続部や電源スタンドは液体に浸けたり、水に濡らしたりしない。 ※ショート・感電の原因になります。

保障とアフターサービス（必ずお読みください）

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談ならびにお取扱い・お手入れに関するご不明な点は販売店または本書に記載のお客様ご相談窓口へご相談ください。

ご転居あるいはご贈答品などで保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理が依頼できない場合

■輸入販売元 **Tamahashi** co.,Ltd.

株式会社 タマハシ

〒959-1241 新潟県燕市小高4549-6

TEL0256-63-9545 FAX0256-66-2252

URL <https://www.smile-king.co.jp>

E-mail tamahashi@smile-king.co.jp

[受付時間] 10:00 ~ 12:00
13:00 ~ 17:00 (土日・祝日は除く)

保証書（一体）

- 保証書は、この取扱説明書の裏表紙に記載されています。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

一保証期間—
お買い上げ日より1ヶ月

補修用性能部品の保有期間

- 本製品は補修用性能部品の製造打ち切り後5年間保有しています。
- この期間は経済産業省の指導によるものです。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼される時は

- 保証期間中
製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。
保証書/取扱説明書の記載内容により修理いたします。
- 保証期間が過ぎている時は
お買い上げの販売店にご相談ください。修理により機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

本文中の絵表示は製品のイメージで、実際の形状と一部異なる場合があります。

おかしいな？と思ったら

修理サービスを依頼される前に、次の点をお調べください。

こんな時は？	調べるところ	処 置
お湯が沸かない。	電源スタンドのコンセントがはずれていませんか。	コンセントをきちんと差し込んでください。
作動しない。沸騰する前にスイッチが切れてしまう。	MIN (0.3L) に満たない水量で湯を沸かしていませんか。 また、水が入っていない状態でスイッチを入れたりしていませんか。 空だきすると、安全装置が作動して、スイッチが入りません。	ケトルをよく冷ました後、水を入れて、電源スイッチを押してください。
湯に白い物が浮く、容器内が汚れていたり、壁面がはがれたように見える。	ミネラルなど水道水の成分が固着しはがれたものです。 ミネラル分が多い水やアルカリイオン水を加熱すると、ミネラル分が結晶となり白く見えることがあります が有毒ではありません。	クエン酸洗浄によるお手入れをしてください。 (8 ページ参照)
湯沸かし時の音が大きくなる。	ケトル内部底面に水アカが付着したためです。	ケトル内部をお手入れしてください。(7 ～ 8 ページ参照)
電源スイッチが入らない	ケトルと電源スタンドの端子接触部が正しく接触していますか。	ケトルと電源スタンドを正しくセットする。 (6 ページ参照)
	連続使用していませんか。	5 分以上間をあけてから再度電源スイッチをいれてください。
電源スイッチが切れない	ふたが閉まっていますか。ふたがしっかり閉まっていないと沸騰してもスイッチが切れません。	ふたをしっかりと閉めてください。

上表にしたがって調べたいただいても原因がわからないときや、その他の異常や故障があるときは、お買いあげの販売店に修理をご依頼ください。

長年ご使用の電気ケトルの点検を！	
 愛情点検	「おかしいな？と思ったら」の表を参考に処置した後、なお異常がある場合はただちに使用を中止してください。 故障や事故防止のため、必ず点検・修理を販売店にご相談ください。

警告

 フタを確実に閉める。 ※フタが閉まっていないと、沸騰しても電源が切れません。やけどや故障の原因になります。	 湯沸し中はフタを開けたり、給水したり、湯を注がない。 ※湯が飛び散り、やけどをする原因になります。
 使用中・使用後しばらくは高温部に触れない。 ※やけどの原因になります。湯を沸したときは、本体表面が高温 (約 80℃) になっています。	 電源スタンドのジャックに金属ピンやゴミを付着させない。 ※感電やショートによる火災や接触不良による故障の原因になります。
 直火 (ガスコンロなど) や電気ヒーターなどの上にのせない。 ※火災の原因になります。	 電源プラグにほこりや汚れが付着している場合はよくふき取る。 ※火災の原因になります。
 電源プラグは、コンセントの奥までしっかり差込む。 ※感電・ショート・発煙・発火の原因になります。	 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。 ※やけどをする恐れがあります。特に幼児には触れさせないでください。
 痛んだ電源コードや電源プラグ、差込みがゆるいコンセントは使用しない。 ※感電・ショート発火の原因になります。	 電源コードに重いものを載せたり、挟み込んだりしない。 ※コードが破損し、感電や火災の原因になります。
 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり束ねたりしない。 ※コードが破損し、感電や火災の原因になります。	 異常が生じた場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。 ※感電、発火の恐れがあります。

注意

 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く。 ※ケガややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。	 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く。 ※感電やショートして発火することがあります。
 不安定な場所や熱に弱い敷き物の上で使わない。 ※畳、じゅうたん、テーブルクロスなど熱に弱いものの上で使用しないでください。火災や敷物の変色・変形の原因になります。	 壁や家具の近く、カーテンなどの可燃物の近くで使用しない。 ※蒸気や熱で壁や家具を傷め、変色・変形・火災の原因になります。
 電源コードが破損した場合、応急処置を施したり、修理・交換は行わない。 ●個人の判断で処置せず、輸入販売元または販売店へご相談ください。	 本品は玩具ではありません。 ●子供が遊ばないよう注意してください。特に小さなお子様は調理スペースや本品に近づけさせないでください。

⚠ 注意

 ガスコンロやストーブなどの熱源の側で使わない。 ※熱により本体が損傷する原因になります。	 水に濡れた場所で使わない。 ※感電の原因になります。
 電源スタンドは専用です。他のものは使わない。また、電源スタンドを他の機器に使わない。 ※発火・故障などの原因になります。	 本体は電源スタンドの中央に確実にのせる。 ※転倒によるやけどや、接触不良による故障の原因になります。
 空だきをしない。 ※本体に水が入っていないときは通電させないでください。故障の原因になります。	 フタを開けたとき蒸気に触れない。 ※やけどの原因になります。
 本体に水を入れたまま放置しない。残り湯は捨てる。 ※故障や変色・異臭の原因になります。	 本体に氷を入れて保冷用として使わない。 ※結露による感電の恐れがあります。
 牛乳や酒、コーヒー、お茶など水以外のものを入れない。 ※沸きすぎによるやけどや、焦げつき、腐食の原因になります。	 本体を持ち運ぶときは、フタを閉めハンドルを持つ。 ※落下や湯がこぼれて、ケガややけどの原因になります。
 業務用として使わない。 ※故障の原因になります。	 落したり、ぶつけたり、強い衝撃を与えない。 ※破損して感電やケガ、やけどの原因になります。
 お手入れは冷めてから行う。 ※高温部に触れ、やけどをする恐れがあります。	 丸洗いしたり、接続部に水を入れたりしない。 ※漏電による感電や故障の原因になります。
 本体内部は洗剤を使って洗わない。 ※異臭の原因になります。	 食器洗い乾燥機や食器乾燥器で洗わない。乾燥させない。 ※故障の原因になります。
 ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用した場合は、よりこまめにお手入れする。 ※本体内部にミネラル分などが付着しやすくなり、メッシュフィルターが詰まるなど故障の原因になります。	 使用後しばらくはヒーター及び本体プラグに触れない。 ※ヒーター、プラグは高温になっています。触れるとやけどの原因になります。

こんなときは

- 沸かしたお湯に白やキラキラした浮遊物がある。
- 赤サビ状の斑点（もらいサビ）がついた。
- 乳白色、黒点、虹色などに変色した。
- ザラザラしている。

アルカリイオン水やミネラルウォーターのご使用や水道水の水質によって、ご使用にともない本体内部に水アカが付着します。これはミネラル分などの作用によるもので衛生上問題ありません。汚れがひどくなったらクエン酸洗浄をしてください。アルカリイオン水やミネラルウォーターをご使用の場合は特に汚れやすくなります。定期的にクエン酸洗浄で手入れすることをおすすめいたします。

※使い初めの本体のにおいが気になる時も、クエン酸洗浄で改善する場合があります。

< クエン酸洗浄 >

1. ケトルに水を入れ、クエン酸を加える

- ①ケトルに最大目盛(max) まで水を入れる。
- ②約 15g のクエン酸を入れ、かき混ぜてからフタをする。



2. 洗浄をする

- ①水を入れたケトルを電源スタンドに正しセットします。
- ②フタがしっかりと閉まっていることを確認してください。
- ③電源スイッチを押します。電源が入り、通電ランプが点灯します。

3. お湯が沸き、電源が切れる

- ①お湯が沸くと自動的に電源が切れます。（電源スイッチが元に戻り、通電ランプが消灯します。）
- ②約 1 時間放置してください。

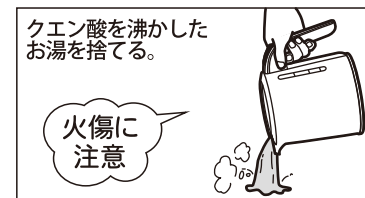


4. お湯を捨てる

- ①本体を電源スタンドから外し、お湯を捨ててください。
- ②ケトル内側を水ですすぎます。

5. 再度、水を入れて沸騰させてお湯を捨てる

- ①クエン酸のにおいをとるために、最大目盛(max) まで水を入れて沸かします。
- ②沸いたらお湯を捨てます。



●汚れが落ちにくい場合は繰り返しクエン酸洗浄を行います。

- クエン酸洗浄のお湯は飲まないでください。
- クエン酸は必ず水に加えてください。お湯には入れないでください。
- クエン酸は薬局などでお求めになれます。（クエン酸は食品添加物なので食品衛生上無害です。）
- ケトル本体内部のステンレス部分をお手入れする際は、柔らかいスポンジをお使いください。また、ステンレス部分は強くこすらないでください。表面に傷がつくおそれがあります。

5. お湯を注ぐ

- ①フタが確実に閉まっているか確認します。
- ②本体を電源スタンドから持ち上げ、安全レバーを押しながらお湯を注ぎます。

- 沸騰状態がおさまってから注いでください。
- 注ぐ際に傾けすぎると本体とフタの間からお湯がこぼれることがあります。

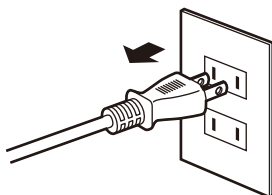


6. 使用後

- ①電源プラグをコンセントから抜きます。
- ②フタを外して本体の残り湯を捨てます。

お願い

- 残り湯は捨ててください。放置すると変色・腐食の原因になります。
- 残り湯を流し台に捨てる時はゆっくりと流してください。お湯が跳ね返りやけどをする恐れがあります。



⚠️ 注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く。

- 感電やショートして発火することがあります。

お手入れ方法

- 必ず電源プラグを抜き、本体が冷めてから行ってください。
- 本体の丸洗いは絶対にしないでください。
- 洗剤は使わないでください。
- 金属タワシやみがき粉・ベンジン・シンナーなどは使用しないでください。

本体内側

電源スイッチなど外側に水がかからないようにすすいでください。
※内側は洗剤を使わないでください。異臭の原因となります。

本体外側・電源スタンド

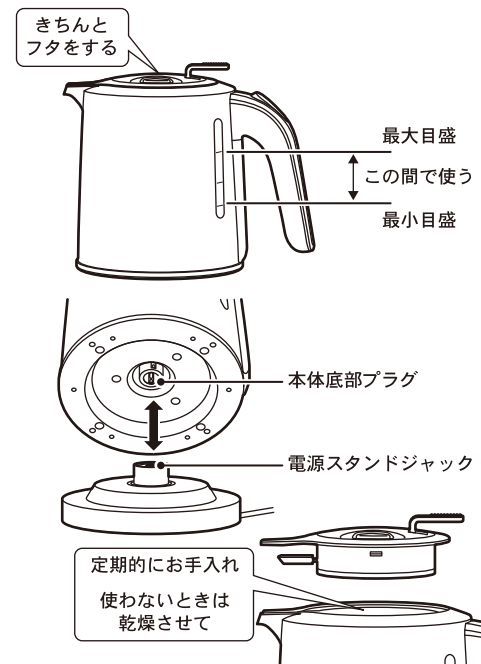
水を含ませ固く絞った柔らかい布などで汚れを拭き取ります。
汚れがひどいときは、柔らかい布に薄めた食器用中性洗剤を含ませ固く絞り、
汚れを拭き取った後、乾いた布で洗剤分を十分に拭き取ってください。



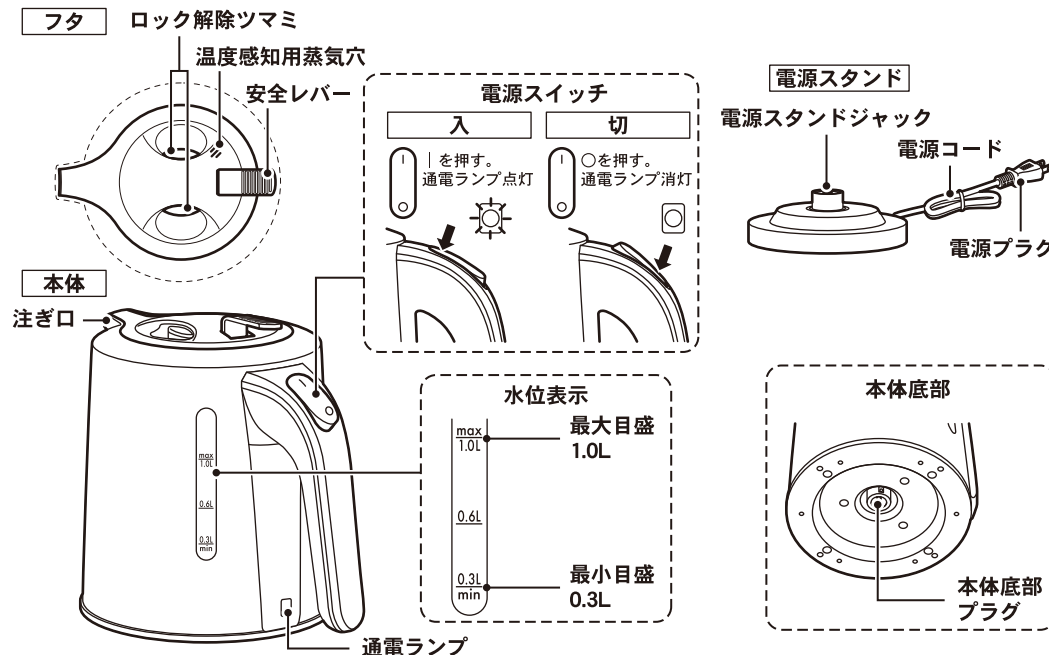
ご使用の前に

- 本製品は水を沸かすためのものです。水以外は沸かさないでください。
- 本製品は保温機能がありません。必要なときに沸かしてください。
- お湯が沸騰するまではお湯が沸騰するまでの時間は、水量、水温、室温などによって多少異なります。
- 本体の最小目盛から最大目盛の範囲でお湯を沸かしてください。
空だき防止機能が働き電源が切れたり、お湯があふれたりして故障ややけどの原因になります。
- お湯を沸かすときは必ずフタを確実に閉めてください。
フタが開いていると沸騰しても電源が切れません。
- 本体底部のプラグと電源スタンドのジャックを確実に接触させてください。
接触が不十分な場合、電源スイッチが入らなかったり、切れなかったりします。
- 長時間清潔にお使いいただくために、定期的にお手入れしてください。
- 長時間お使いにならない場合は、お手入れの後、本体内部に水分が残らないように十分乾燥させてから保管してください。
においや腐食の原因になります。

最大容量	時間
1.0L	約8分



各部の名称



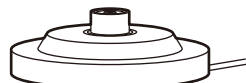
ご使用方法

初めて使うときは

- 本体内部を水またはぬるま湯でよくすすいでください。
- お湯が臭うときがありますが、ご使用とともになくなります。気になるときは2～3回沸騰させた後、お湯を捨ててください。※クエン酸洗浄(8ページ)で改善する場合があります。

1. 電源プラグをコンセントに差し込む

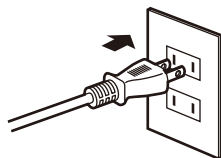
- ①電源スタンドを水平で安定した場所に置きます。



平らなところに置く

- 不安定なところに置かないでください。

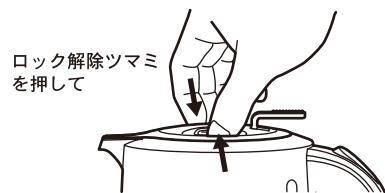
- ②電源プラグをコンセントに差し込みます。



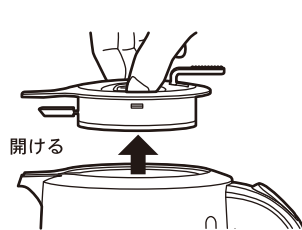
- 電源は、交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使ってください。

2. 本体に水を入れる

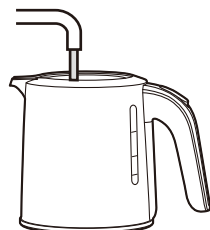
- ①フタを開けて、必要な量の水を入れます。



ロック解除ツマミを押して



開ける



- ②フタを確実に閉めます。



必ずフタを閉める

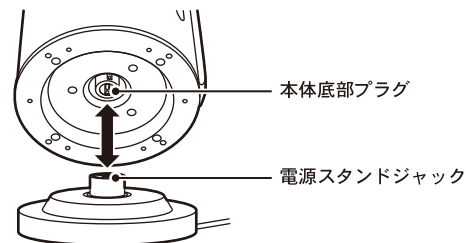
お願い

- 最低目盛以下の水量で沸かさないでください。空焚き防止機能が働いて自動的に電源が切れることがあります。
- フタが開いていると沸騰しても電源が切れません。必ず閉めてください。
- 保温機能がありませんので、必要な量だけ沸かしてください。
- 本製品は密閉式なので転倒したときに一度にあふれ出ることはありませんが、そのままにしておくと温度感知用蒸気穴から少しずつこぼれてきます。

3. 本体を電源スタンドにのせ、電源スイッチを入れる

- ①本体底部プラグと、電源スタンドジャックを合わせて接続します。

※本体の電源スイッチが切れている状態で行ってください。

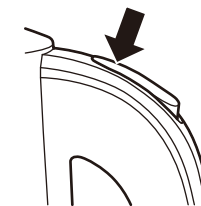


本体底部プラグ

電源スタンドジャック

※本体底部のプラグは真すぐに電源スタンドのジャックにセットしてください。

- ②電源スイッチを押します。



通電ランプ点灯

※電源スイッチを「入」にしたまま電源スタンドにセットしないでください。ショートの原因となります。電源スタンドに乗せてからスイッチを入れてください。

4. お湯が沸いて電源が切れる

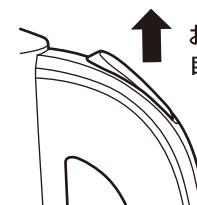
お湯が沸くと自動的に電源が切れます。電源スイッチが元に戻り、通電ランプが消灯します。

- 使用中は本体（特に注ぎ口・フタ付近）が熱くなります。やけどにご注意ください。

本製品は蒸気の温度を感知してスイッチを切る構造となっています。そのため、水の量が多すぎたり連続的に沸騰された場合には、ハンドル内部で蒸気が結露し一部がハンドル下側からわずかにたれてくる場合がありますが、異常ではありません。

湯沸し時間の目安（水温20℃）

最大容量	1.0L
時間	約8分



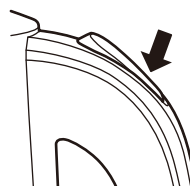
お湯が沸くと…自動的に電源が切れます。



通電ランプ消灯

途中で電源を切るには

- A. 電源スイッチを押して電源を切ります。
B. ハンドルを持って、本体を電源スタンドから持ち上げます。



○を押す。
電源「切」

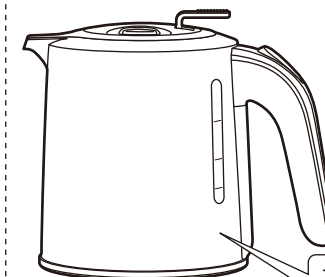


持ち上げて
電源「切」



連続して湯沸しするには

本体に水を入れ、約5分本体が冷めるまで待ちます。その後電源スイッチを入れます。



本体が冷めるまで
5分待つ

- 連続して湯沸しするとスイッチ付近が高温になります。必ず一旦本体をさましてください。